

アルコールや除菌シートの
不足でお困りの方に

消毒液の作り方



手指消毒

感染対策の基本は、手洗いです！ →「手洗い」の資料をご覧ください。
アルコール液を使った消毒をしたくても 入手が難しい場合は、消毒液を作る方法もあります。

無水エタノールの使う場合(100ml)

無水エタノール	70 ml
精製水	30 ml
グリセリン	5ml

イソプロパノールを使う場合(100ml)

イソプロパノール	50 ml
精製水	45 ml
グリセリン	5 ml

※アルコールは脱脂作用があり、手が荒れることがありますのでご注意ください。
※手荒れを防ぐため、グリセリンを多めにしています。水とグリセリンの分量は、
調節していただいてもかまいません。

身の回りの物の消毒



【用意するもの】

塩素系漂白剤(塩素濃度約5%)

用途	濃度	希釈方法
ドアノブ、手すり などの消毒	0.05%	500mlのペットボトル1本の水に、 塩素系漂白剤5ml(ペットボトルのキャップ1杯)を入れる
嘔吐物が付着した 床などの処理	0.1%	500mlのペットボトル1本の水に、 塩素系漂白剤10ml(ペットボトルのキャップ2杯)を入れる

- ★製品の記載濃度をもとに、用途に応じて薄めて使用してください。
- ★作った消毒液は保存せずに、その都度使い切るようにしましょう。

【消毒する場所】

ドアノブ、窓の取手、照明のスイッチ、テーブル、いす、リモコン、手すり、水道の蛇口 など

【方法】

- ★ペーパータオル等に十分に消毒液を含ませてから拭きます。1日1~2回が目安です。
- ★漂白剤を使用した場合、拭いた場所がさびる恐れがあるので、消毒後は水拭きします。
- △スプレーボトルでの噴霧は、ウイルス飛散の可能性があるため、好ましくありません。

【注意点】

※手指の消毒には使用しないでください。手荒れの恐れがあるので、直接触れないようにしてください。ご使用の際は、十分に換気を行いましょう。